



こんにちは。

トリプルアイズの光石です。いつもお読みいただきありがとうございます。

トリプルマガジンでは、当社の製品やサービスについてはもちろん、IT・AIに関する最新情報を発信しています。たまに社内の出来事もお知らせします。身近に感じていただけると嬉しいです。

さて今回のコラムは、「**「あれをAIでできない？」をもっと気楽に。ラボ契約スタート**」というテーマでお届けします。

トリプルニュースでは、「**太陽光発電施設で PoC 開始！ AI 監視カメラを活用して盗難対策**」「**【無料オンラインセミナーのご案内】開発リーダーが語る AI 人材育成のメソッド 5/17（水）開催**」についてご紹介いたします。

さらに IT 批評では、「**今月の編集長レビュー 映画『生きる-LIVING』は名画か？ 官僚主義と“善”の陳腐さ**」についてご紹介いたします。

どうぞ最後までお付き合いください

-----<目次>-----

1. 「あれをAIでできない？」をもっと気楽に。ラボ契約スタート
2. トリプルニュース
3. IT 批評
4. 編集後記

-----

## 1. 「あれをAIでできない？」をもっと気楽に。ラボ契約スタート



先月トリプルニュースでも簡単にご紹介させていただいたトリプルアイズの「AI Lab」

おかげ様で少しずつ認知度が上がってきております。ありがとうございます！

詳細をお伝えすることは難しいのですが、とある企業様と、**文字認識 AI・音声認識 AI と ChatGPT を組み合わせた研究**を進めています。どんな開発になるのか楽しみです。

今回は**トリプルアイズの AI Lab**について詳しくご紹介いたします。

まず「ラボ契約」ってなあに？という疑問にお答えしますと、「**ラボ契約**」とは開発を外部に委託する際の契約形態の一つで**ラボ型開発**とも呼ばれています。一定期間、専属のチームが構成され、発注者側の指示で開発を行っていく形式です。**エンジニア不足を解消**する手段として昨今注目されているんです。

成果物に対する請負型の契約と違って、要件定義・設計・製造・テスト・運用の**どのフェーズからでも柔軟にスタート**することができるため、発注段階で詳細が固まっていない**新規事業立ち上げや新規サービスの立ち上げ時**などに最適だと言われています。プロジェクトが始まって、途中で仕様変更が発生しても、ラボ契約なら安心ですね。

そして、トリプルアイズの「AI Lab」の特徴といえば、**囲碁 AI 世界 2 位の実績と多数の社会実装実績**をもっており、その名のとおり **AI 領域に強み**を持っているということです。企業様のビジネスに合わせた最適な AI 利用の提案から、画像解析、需要予測、レコメンド、自然言語の AI に対応した開発、PoC や精度検証、モデル検証まで、どのフェーズからでもご提案が可能です。

「自社の AI 事業を立ち上げたい」「自社の開発をスピードアップさせたい」「長期的に開発に携われるエンジニアを安定確保したい」「開発と採用におけるコストを減らしたい」といった課題をお持ちの企業さま、ぜひご一報ください。

トリプルアイズの「AI Lab」は、**AI 開発とシステム開発の二刀流で、貴社の DX を強力に推進**します。

ご相談はこちらまでどうぞ [contact@3-ize.jp](mailto:contact@3-ize.jp)

## 2. トリプルニュース

**「太陽光発電施設で PoC 開始！ AI 監視カメラを活用して盗難対策」**



このニュース、ご存知ですか？ **全国各地の大規模太陽光発電施設で、送電用の銅線ケーブルが盗難に遭う被害が相次いでいます。**（写真参照：盗難被害に遭った銅線）

復旧費用も合わせ、**損失はなんと数千万円から1億円余りにのぼるそうです！** 相次ぐ盗難の背景には**世界的な銅価格の上昇**が影響しています。

太陽光発電所は人里から離れた屋外に設置されていることより発覚リスクが少なく、大規模な盗難につながっていると見られています。赤外線センサー等を活用した従来の機械警備では窃盗団から突破されてしまうことが課題となっていました。

今回、トリプルアイズとJIAは、太陽光発電施設でのケーブル盗難に対し、テクノロジーの力で解決することを目指し、新たなソリューションを構築します。基本構成は、**監視カメラ（AIカメラ）とクラウドを連携**したものです。監視カメラには**AIプログラム**が搭載されており、赤外線センサーのように草木の揺れなどで発報することなく、**人を検知する機能**を備えております。**24時間365日の監視**が可能であるうえ、画角が広いため死角を生じません。また夜間でも昼間のような明るさでの撮影が可能です。

太陽光発電はSDGsの観点とパネルコストの低下から普及が進んでおり、世界電力市場の柱になると期待されています。**太陽光発電所の運営に関して多様なノウハウを有するJIA**と、監視カメラとクラウドを連携したソリューションでの実績を持つトリプルアイズが、両社の強みを生かして新たな事業価値を創造します。

詳細はこちらをご覧ください。<https://www.3-ize.jp/information/3123/>

**【無料オンラインセミナーのご案内】開発リーダーが語るAI人材育成のメソッド 5/17（水）開催**

＼ 企業研修担当者必見！！ ＼

オンラインセミナー  
開催

「10年先」を見据えた  
**AI人材育成のメソッド**

AI分野が拡大している今こそ採用ではなく養成を

**5/17**（水）  
19:00～19:30  
質疑応答は終了後 **参加費 無料**

永井 寛泰  
株式会社トリプルアイズ  
執行役員

IZE Realize Customize Maximize  
**TRIPLEIZE**

「10年先を見据えたAI人材育成のメソッド」と題して、5月17日（水）に人材教育・研修担当者向けの**無料ウェビナー**を開催します。おかげさまで続々とお申し込みをいただいております。ありがとうございます！

加速度的に進化を遂げる **AI サービス**。最近ではジェネレーティブ AI（生成 AI）がトレンドワードとなっていますが、なかでも最も注目を集めている ChatGPT は、提供開始から 2 カ月間で世界で 1 億人が利用していると言われています。いよいよ AI が社会生活のさまざまなシーンに活用される段階に入ってきました。**企業における AI 活用も待ったなしの状況**です。

本ウェビナーでは、なぜ今 AI エンジニアが必要とされているのかその背景とともに、**AI 技術の活用シーン**、AI エンジニアに求められる**スキル**、**社内人材を AI 人材に育成する方法**などについて解説いたします。AI 研究の最先端で活躍するエンジニアだからこそ語れる、AI 人材育成メソッドにぜひ耳を傾けてください。

#### ■ ウェビナー概要

タイトル：「**10 年先を見据えた AI 人材育成のメソッド**」

開催日時：**2023 年 5 月 17 日（水） 19:00～19:30**（質疑応答はセミナー終了後）

申込方法：下記 Google フォームにご入力ください。

または [pr\\_tripleize@3-ize.jp](mailto:pr_tripleize@3-ize.jp) 宛にセミナー参加希望の旨を記入いただきお申し込みください。

<https://forms.gle/XwBBomkHxoWcesNC7>

参加費：無料（ご参加には予約が必要です）

開催方法：オンライン（Zoom にて。インストール・ご利用ともに無料です。）

お申し込み完了後、ウェビナー参加 URL をメールにてご案内いたしますので、ご確認ください。

申込期限：2023 年 5 月 16 日（火） 17:00

#### ■ ウェビナーアジェンダ

- ・ AI 実装力が会社の未来を左右する、AI 人材が必要とされる背景
  - ・ AI 技術の活用シーン
  - ・ AI エンジニアは採用ではなく養成を
  - ・ トリプルアイズの AI 教育サービスご紹介
- ※オフライン講義 「AI エンジニア養成ブートキャンプ」のご案内を含みます
- ・ 人材開発支援助成金等の活用のご案内

詳細は下記サイトをご覧ください。

[https://www.3-ize.jp/case/detail\\_20230517.html](https://www.3-ize.jp/case/detail_20230517.html)

AI エンジニア養成ブートキャンプ：<https://aibootcamp.jp/>

AI ビジネス実践塾 AT20：<https://at20.jp/>

### 3. IT 批評

「【今月の編集長レビュー】映画『生きる-LIVING』は名画か？ 官僚主義と“善”の陳腐さ」



黒澤明原作、カズオ・イシグロ脚本で話題の映画『生きる-LIVING』もう皆さんはご覧になりましたか？ この大ヒット中のヒューマンドラマは何を描こうとしているのか。人間の持つ愚かしさや虚しさ、官僚主義やそこを打破しようとする加速主義について論じています。今回は本だけでなく映画（DVD）もたっぷり紹介しています。

ぜひご一読ください！

<https://it-hiyou.com/>

\*\*\*\*\*

#### 編集後記

\*\*\*\*\*

本号も最後までお読みいただきありがとうございました。実は次号より編集長のパトンを広報メンバーの白石に戻します。1年間お付き合いいただきました皆さまには感謝の念でいっぱいです。というと光石辞めそうですが辞めるわけではありません。どこかでお会いする機会がございましたら、その際はご挨拶させてください。ということで、引き続きトリプルマガジンをよろしくお願いたします！

光石に代わり、次号よりトリプルマガジン編集長を務めさせていただきます白石です。実はちょうど一年前までこのトリプルマガジンを担当しており、産休を経てこの5月に復職いたしました。今後も広報チームで内容を熟考しながら、皆様にフィードバックをいただきながら、このトリプルマガジンを盛り上げていきたいと思っております。ぜひお付き合いのほどお願いたします！

\*\*\*\*\*